

「春夏に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

令和7年6月13日（区役所1202会議室・中央公園）

講座の内容

前半の講義では、品種改良の話から始まり、クスノキの枝を用いて剪定の方法や、美しい樹形への仕上げ方、樹高の縮め方などを教わりました。後半は中央公園で、実際に剪定の実習を行いました。先生の指導の下、形や大きさの違う樹木を綺麗に剪定する方法、公園を散策し樹木の観察なども行いました。

<講義の様子>



講義の始めに野菜などの品種改良についての話をしていただきました。



どんな枝をなぜ切るべきなのか、資料と共に説明していただきました。



先生がクスノキを用いて、剪定の技術や、樹高を抑える剪定を実演。

<実習の様子>



中央公園の樹木で、実際に剪定を行いました。ボックスウッド・ベニカナメ・オオムラサキの3種類の樹木を、先生の指導の下剪定し、綺麗に仕上げることができました。また公園を散策しながら、樹木の状態や管理方法などについて説明していただきました。



講師
岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」、「樹木医」としても活躍する造園技術者。造園工事や樹木等の維持管理委託業務に携わっており、平成28年頃から足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。

家の木の剪定時期を知ることができ、実際に剪定が出来たのでとても良かった。
(50代 初参加)

刈り込み方が今までなんとなくやっていたけれど、先生の話の聞いていると、少し分かったような気がし、家でもやってみようと思えた。
(60代 2回目)

剪定の仕方が少し分かった、色々な質問を聞いてためになった。
(70代 2回目)

参加者の声